

No		#すごろくワークひらいてみた!
日時：令和4年9月10日(土)		
主催：かな—ちえ・ラシク045×横浜市 政策局男女共同参画推進課		
会場：神奈川県地域子育て支援拠点かな—ちえ		参加者：父親5母親4ファシリ3合計 12

様子



対話の積み重ね×ネットワーク
対等で開かれた空間・場から
生まれてくる、化学反応

ひと言&感想

- ◆かな—ちえで毎月第2土曜日に開催している「パパトーク」とジェンダーすごろくワークを掛け合わせて開催。すごろくワークを地域ケアプラザ×学生×大学×地域の中で生み出した原島隆行さんより、先ずはすごろくワークの進め方を伝授いただき、いざ!すごろくスタート。みんなで、語り合いました。
- ◆「ジェンダーについて」がテーマだとハードルが高いけれど、すごろくになっているので楽しく、おもしろく、自由に話ができ、他の人の声を聴くことができた。
- ◆普段、他の母たち(妻以外)の本音を聴く機会がないので、いろいろな意見にふれることができてよかった。
- ◆ジェンダーって、子ども時代の育ちから続いているテーマ。知ることが大切。と気づいた。

ワークメモ(模造紙)

- ◆男性の育休のバックアップがない。(長期離脱)を前提にしていない。上司層は専業主婦で乗り越えてきた世代。理解不足。
- ◆昔に比べたらやりたい事ができる社会になった感じもある。子育て×会社仕事、もう少し融通が利くといい。
- ◆両方が参画していないから男女共同参画という言葉がでる。男女共同参画って、そもそもなに？
- ◆すり込みを少なくしていく。ジェンダー平等、どう受け止めるのか。共働き or 分業、両方できる分業

